

宇工高同窓会々報

同窓会長挨拶

同窓会長

岡田義治



②「一人は一校を代表す」

という教訓を残した、初代校長・安美賀先生の記念碑を、

新しい学校に移設すること。

同窓生の「心の原風景」とし

て、存続が必要だと思います。

③宇工高が京町に在ったことを示す、八十七年間の歴史の証を、記念公園（ポケットパーク）として残すこと。

これら的主要なことは、今から各方面に働きかけ、理解を求める努力が必要です。

ほかにも、校歌、記念碑、記念樹、同窓会館などについて、様々なご意見があります。

また、歴史を含め「学校の記録等」を残すこと、同窓会の役割の一つと考え、すでに作業をスタートさせました。

度に移転・開校する「科学技術高校」への円滑な橋渡しの役割を、役員の皆様と共に果たす準備を始めました。

①同窓生の最大の関心事である「宇都宮工業高校」の校名を残すこと。卒業生が歴史的に二分されないよう理解を求めて行きたいと思います。

会員の皆様には、今後とも率直なご提言、ご理解と、ご

支援を頂きますようお願い申しあげ、挨拶といたします。

ごあいさつ

学校長 岡村悦夫



発行所
宇都宮市京町9番25号
電話 (028) 633-0451
宇都宮工業高校
同窓会事務局

同窓会の皆様には、本校の教育振興と在校生のために特段のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。とりわけ本年度は、定時制が定通総体全国大会に6部が出場することに伴いござります。おかげさまで卓球部がベスト8に入賞しましたことを報告させて頂きます。

本年、高校改革の一貫として、県立高等学校再編後期実

インターハイ連続出場

バスケット部顧問 千村 隆



行計画が決定されました。また、12月下旬には、今後の高校教育の方向を定める学習指導要領案が発表になり、パブリックコメントにかけられた後、本年度内に告示がなされる予定です。こうした動きを踏まえながら、新たな宇都宮工業高校の開校に向け、新校設立準備委員会が設置され、校名や教育内容などを検討して参ります。そんな中、文科省と国土交通省による「地域産業の担い手育成プロジェクト」事業に、土木・建築・イントリア設備・電気・電子の5科が、今工高・真工高と共に取り組むことになりました。建設業協会のお世話になりましたが、建設業仕事説明会・生徒の企業見学・現場実習・企業技術者による授業・教員の企業実習・安全教育に関する共同研究に取り組みます。会員の皆様のなお一層のご支援・ご指導をお願いします。

1-Highの切符を手にしました。優勝した瞬間観客席から7色のテープが投げ入れられ歓喜に満ちた会場は熱氣と興奮でしばらくはその場を離れる事ができないほどであった。3連覇が伝統校として強豪校として認められるのは誰しもある。選手が本当に良く頑張りました、学校・同窓会・O-Bの方々にもご支援を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。インターハイは強豪大分舞鶴に逆転負けはしましたが次に繋がる試合でした。11月に行われた全国選抜大会県予選会も3連覇を達成し12月29日まで3年生はバスケットボールをプレーできることは素晴らしい経験と財産になつた事だと思います。

1-Highの切符を手にしました。優勝した瞬間観客席から7色のテープが投げ入れられ歓喜に満ちた会場は熱氣と興奮でしばらくはその場を離れる事ができないほどであった。3連覇が伝統校として強豪校として認められるのは誰しもある。選手が本当に良く頑張りました、学校・同窓会・O-Bの方々にもご支援を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。インターハイは強豪大分舞鶴に逆転負けはしましたが次に繋がる試合でした。11月に行われた全国選抜大会県予選会も3連覇を達成し12月29日まで3年生はバスケットボールをプレーできることは素晴らしい経験と財産になつた事だと思います。

これからも毎日一生懸命練習に励み宇都宮工業高校の名連覇を目指す。チームのスローガンである常に全力真っ向勝負で頑張ります。これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひいたします。

ロボコン世界大会

生産システム研究部
電子機械2年 杉本 一磨



今大会に世界23カ国が参加していました。7月から全国22会場で地区予選会が始まりました。8月に行われた関東大会には高専や自衛隊も含め、100チームが参加していました。正攻法で挑み、すべて

調に完走し、大差を付け「優勝」。自由製作部門でも廃油から石鹼を作るロボットが高い評価を得て「優勝」、チームが世界大会の出場権を得ました。思い返せば6月から一日も休んでいません。

11月の世界大会では一回戦で上位はスエーデン、シンガポール、マレーシアと本校生産システムの5チームに絞られました。2回戦で3位入賞を試みましたが、そのまま「4位」「5位」に。さらに、翌日の表彰式では自由製作部門も「7位」に入賞。全員が入賞してほっとしました。

2009年は韓国大会。頑張ります。

第60回春季関東地区高校野球大会出場

野球部前監督
建築科 大森 一之

春季栄木大会での5年ぶり15回目の優勝、ノーシードながら本当によく成し遂げたなどいう感じである。高校野球のトーナメント「一発勝負」の部門で、優勝しました。

日本代表決定戦前に赤外線センサーでコース壁を正確に認識しながら走行する最速マシンを完成させました。全国



高校生ものづくりコンテスト全国大会

土木科教諭 鈴木 良孝

昨年度より橋梁模型製作から測量競技にかわりました。測量競技は三人がチームとして競技に取り組み、グラウンドに五角形に設置した測点の角度と距離を測る外業とその観測結果を基に計算して座標まで求める内業を行い、時間と精度を競います。

今年は、県予選で優勝、そ

中で、粘り強く試合巧者ぶりを發揮した大会でもあったようになる。この県大会は、皆で頑張った優勝であった。関東大会は山梨県で開催された。相手校は木更津総合高校(関東大会優勝)である。個人個人の「力」は、かなり上であるがどんな試合ができるか楽しみであった。「粘りとチーム力」は負けていない。

「夏の選手権に繋がる大会にしよう」と試合に望んだ。し

今回の関東大会は、強豪校、名門校と言われているチームが数多く出場している中で、宇工の18回出場は、諸先輩方が築き上げてきたすばらしい歴史であり、胸を張れた事を大変嬉しく感じたことを思い出す。応援していただき本当にありがとうございました。



会場はこれまでと違った雰囲気で、ブロック予選を勝ち抜いたチームとすることできも強そうに見え、かなり緊張していました。実際の競技では、外業ではこれまで練習していた測点間の距離が長く、測角と記入を2人で行っていました。これまでどちらがい、競技では走ってはいけないとうことは走ってはいけないとうことはあります。もありタイミングが合わずにはかりしてしまった。しかし、チームワークを十分發揮できず、そして緊張もありこれまでにないミスをしてしまった。成績を残せず三人ともがかりしてきました。しかし、全国大会まで出場できたことは誇りです。次年度も関東大会そして全国大会に出場してもらいたいです。

力、打力共にレベルが高く、宇工も食らいつき点を重ね、一時は接戦にまで持ち込んだが、あと一步及ばなかつた。選手は「勝負には負けたが、戦いには勝った」これらのことを感じ、自信と手応えを感じた試合でもあつたように思える。

阪で行われ各ブロック予選を勝ち抜いた9チームと開催地1チームが参加し競技を行いました。

宇工定時制は今

定時制教頭 軽部 幸治

定時制教育を取り巻く状況は、年々その様相が複雑化し、生徒たちは様々な進学動機をもって入学してきます。勤労青少年の教育機会の確保という役割に加え、様々な理由で定時制高校への進学を余儀なくされた者の「学び直しの場」としての役割も重要なになってきました。夜間定時制高校の役割と価値は、そんな生徒たち一人ひとりに目を掛け、十分なケアのもとに、将来、生徒が社会的に自立する力を身につけさせることにあると考えております。



学校公開

現在、本校定時制では「きめ細やかな個に応じた生徒指導体制の整備」に努めております。全職員がすべての生徒が一枚岩となつて指導にあたるようしております。学習に関して守るべきルール等も、生徒に浸透し、お陰様で落ち着いた学習環境が整いつつあります。過日、学校評議員の方々に、授業を見学していただきましたが、ほとんどの生徒が仕事を持ちながら、夜遅くまで熱心に頑張っている様

子に、お褒めの言葉をいただきました。生徒たち自身の頑張りと関係各位の御支援により、本校定時制も少しずつ確かな成果があがつていると自信しております。

運動関係では、県定通総体において、団体で出場した五種目すべて（軟式野球、サッカー、柔道、男子バスケットボール、卓球）で優勝、個人は二種目（卓球、陸上競技）で全国大会への出場権を獲得、さらに卓球部は、全国大会で計六つの部で全国に出場するという快挙を成し遂げました。

また、とちの環県民会議主催の「エコポエム」で、小堀貴裕君（一年）が、全日制の二名とともに、特別賞を受賞し、とちの環県民会議会長の福田富一知事から表彰を受けました。その作品は、本人の朗読で収録され、ラジオの朽木放送で放送されました。

その他、第二種電気工事士試験において、八名受験中五名が合格するなど、資格試験取得等でも頑張っております。

昨今の経済情勢の不透明感は、私たちの生活に不安をもたらしております。今年の卒業生の進路状況を見ると、進学者は、大学進学をはじめ全員が進路を決定しました。しかし、就職者は、幸い内定取り消しはないものの、まだ未決定者がいるなど厳しい状況です。生徒は本当によく頑張っていますので、今後も様々な場面での皆様の温かい御支援をお願い申しあげ、定期的の報告いたします。

子に、お褒めの言葉をいただきました。生徒たち自身の頑張りと関係各位の御支援により、本校定時制も少しずつ確かな成果があがつていると自信しております。

お借りして、同窓会の皆様には深く感謝申し上げます。

文化活動では、県定時制通信制生活体験発表会に、山北峻介君（二年）が本校代表で出場しました。全国大会出場は逃しましたが、第四位で優良賞を受賞しました。

また、とちの環県民会議主催の「エコポエム」で、小堀貴裕君（一年）が、全日制の二名とともに、特別賞を受賞し、とちの環県民会議会長の福田富一知事から表彰を受けました。世界的な不況の影響を横目で見ながら3年生の就職指導を行つてきましたが、就職一次試験では昨年の91%を超える95・3%の生徒が合格しました。卒業生の方々の実績と産業界からの高い評価の賜です。期間従業員や派遣社員の大量解雇のニュースが報道される中、10月中旬に本校の就職関係はほぼ終了しました。

大学からは工業高校でのものを作り体験を高く評価し、入学後の活躍を期待しています。

大学・短大・専門学校のように進路別・コース別の導入やカリキュラムの整備など、進学指導体制の確立を行い、そのコースやカリキュラムに添った補習を行っています。

就職と進学双方の選択肢をより充実することで本校生徒の進路希望を実現したいと思います。

平成20年度の進路について

2 指導体制の確立が望まれる進学

進路指導部 蓮田 裕一

本年度の進学については大

1 過去最高の就職試験合格率

本年度の求人企業社数は昨

年63名、短大・大学校11名

専門学校に27名がほぼ決定し

ています。（図2参照）。10年前

は専門学校進学者が75%を超

えていましたが、現在は4年

（平成20年12月末）に減少し

ました。世界的な不況の影響

を横目で見ながら3年生の就

職指導を行つてきましたが、

就職一次試験では昨年の91%

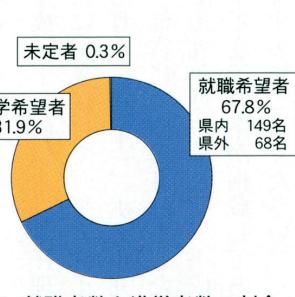
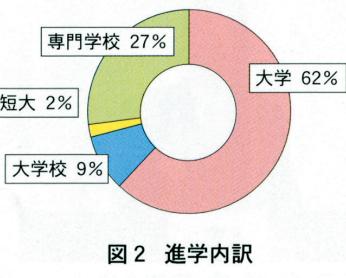


図1 就職者数と進学者数の割合



特筆すべき点です（図1参照）。

県内の他の工業高校が80%近く就職しているのに対しても、進学の割合が多いのも本校の

進路希望を実現したいと思

います。

大学・短大・専門学校のよう

に進路別・コース別の導入やカリキュラムの整備など、進

学指導体制の確立を行い、そ

のコースやカリキュラムに添

った補習を行っています。

就職と進学双方の選択肢を

より充実することで本校生徒

の進路希望を実現したいと思

います。

(口) 平成19年度収支決算報告

(1) 一般会計

収入金 8,954,415円
支出金 4,388,077円
残 金 4,566,338円

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

■ 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
繰 越 金	5,366,145	5,336,145	0	
永 久 会 員 費	3,670,000	3,580,000	△90,000	全10,000×322人=3,220,000 定10,000×36人=360,000
雑 収 入	0	8,270	8,270	一般会計利子
計	9,036,145	8,954,415	△81,730	

■ 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 議 費	800,000	588,996	△211,004	総会、理事会等
事 務 局 運 営 費	300,000	69,583	230,417	名簿管理費、通信費
渉 外 費	300,000	190,000	110,000	母校歓迎会等、寸志等
事 業 費	1,300,000	1,523,748	223,748	餞別金、卒業記念品、同窓会報
教育活動後援費	500,000	500,000	0	H19年度教育活動後援費
慶弔 費	350,000	165,750	184,250	盛花、香料等
ISO維持管理費	300,000	350,000	50,000	
教育活動後援会費	1,000,000	1,000,000	0	(H19年度限定)
予 備 費	5,186,145	0	△5,186,145	
計	10,036,145	4,388,077	△5,648,068	

(2) その他

① 基金

(単位:円)

基金 (90周年準備金含む)	104,230,828 (4,000,000)		
足利銀行 54,177,120	栃木銀行 20,053,082	農林中央金庫 10,000,626	日光杉並木基金 20,000,000

平成20年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金 8,066,338円
支出金 8,066,338円
残 金 0円

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

■ 収入の部

(単位:円)

科 目	19年度予算額	20年度予算額	増 減	備 考
繰 越 金	5,366,145	4,566,338	△799,807	
永 久 会 員 費	3,670,000	3,500,000	△170,000	全10,000×322人=3,220,000 定10,000×36人=360,000
教育活動後援費	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	一般会計利子
計	9,036,145	8,066,338	969,807	

■ 支出の部

科 目	19年度予算額	20年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	800,000	800,000	0	総会、理事会
事 務 局 運 営 費	300,000	300,000	0	通信費、一般備品、 総会・理事会資料印刷代
渉 外 費	300,000	300,000	0	
事 業 費	1,300,000	1,300,000	0	餞別金、卒業記念品、 同窓会報、ISO事業費
教育活動後援費	500,000	500,000	0	
慶 弔 費	350,000	350,000	0	
ISO更新審査料	300,000	0	△300,000	3年に一度
予 備 費	5,186,145	4,516,338	△669,807	
計	8,249,383	8,066,338	△183,045	

(2) その他

① 基金

(単位:円)

基金 (90周年準備金含む)	104,230,828 (4,000,000)		
足利銀行 54,177,120	栃木銀行 20,053,082	農林中央金庫 10,000,626	日光杉並木基金 20,000,000

(ハ) 監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成20年6月26日

会計監査

平成20年度役員

会 副 会 長	治夫 一三夫	造男 一二 薫郎	明昭 好藏	一夫 男夫	誠雄 男男	隆長 雄
義和 英修	秀林 恭弘	誠 碩倭秀	健富 和成	吉 福阿猪	阿伊 飯岡	野 亀柿
田 中 久	津中 藤井 井川	田 谷 井川	成田 部瀬	藤塚 村尻	沼平 辺	小 渡
岡 阿 山	齊梅 今藤	谷 和根	大 根	大出	和田	和
大 龍	大	大	大	板	沼	渡
小 出	大	小	大	吉 福	平	良 勇
大	出	大	出	阿 猪	近	
大	板	大	板	阿 伊	和	
吉 福	吉 福	吉 福	吉 福	阿 伊	阿 伊	
阿 猪	阿 猪	阿 猪	阿 猪	饭 岡	饭 岡	
阿 伊	阿 伊	阿 伊	阿 伊	野 亀	野 亀	
饭 岡	饭 岡	饭 岡	饭 岡	柿 小	柿 小	
野 亀	野 亀	野 亀	野 亀	渡	渡	
柿 小	柿 小	柿 小	柿 小			
渡	渡	渡	渡			

平成二十三年度の七月には、雀宮の新校舎に移転する予定となつておりますので、現校舎があるうちに学校での諸行事や校舎の内外部および歴史などについて、写真や動画をDVD等に保存することにな

一 母校の行事・校舎の記録
保存

二十一年度の総会時に掲載する予定です。二十二年度の総会時に掲載すこととなりましたので、平成二十二年度の総会時に掲載する予定です。

今年度の総会で会員の慶弔は特別な事情以外は行わないこととなりましたので、平成二十二年度の総会時に掲載する予定です。



平成20年度 同窓会総会

一同窓会事務局の動向

二十年の三月で、インテリ電気科の沼尾雅彦先生が眞工高に異動され、機械科に池内広行先生と電子機械科に為永明彦先生が赴任されました。

同窓会定期総会報告